



ところざわまつりの華 山車が育む地域の絆



ところざわまつり山車運営委員会 委員長
赤池 慎一さん（市内在住）

所沢地区の町内会長や所沢市青少年育成推進員協議会の会長なども務める。また、地域の子どもたちの登下校の見守り活動を18年間継続するなど、活躍の範囲は多岐に渡る。

ものすごい速度で成長していく子どもたちを見守ることで、子どもたちからパワーをもらい、赤池さんの日頃の活動の原動力となっているのだそう。

memo

▲山車については本紙令和6年10月号で詳しく紹介しています。

伝統美と迫力を兼ね備えた山車の曳きまわしや心地よいリズムを奏でる重松流祭ばやしに、心踊る出店の数々。皆さんもところざわまつりの楽しい思い出を持っているのではないだろうか。

今年は、10年ぶりに大祭として開催され、2日間にわたり所沢の中心市街地が活気に包まれる。

ところざわまつりは所澤神明社の秋の祭礼を母体として始まったとされる「山車祭り」が起源と言われる、山車が主役の祭りだ。そんなところざわまつりの主役である山車を統括し、山車を安心・安全に運行するために尽力しているのが赤池慎一さんだ。

17年前にPTAの役員として子どもと一緒に山車の曳きまわしをしたことをきっかけに、現在までところざわまつりの運営に精力的に携わっている。

県外で生まれ育ち、子どもの誕生をきっかけに所沢市民となったという赤池さん。「私が育った市では、地域の大人たちが子どもたちが楽しめるようにと祭りを運営してくれていて、祭りにはとても良い思い出があります。私も今住む所沢市の祭りを大切に、子どもたちが愛着を持ち楽しいと思えるような祭りを残したいという思いで、運営に携わりました」と当時を振り返る。語る口調はどこまでも穏やかで、地域の子どもたちへの

愛情の深さを感じる。

赤池さんが考えるところざわまつりの魅力は、主役を山車としながらも、産業祭的な側面や、神輿や民踊流しがあるなど山車だけに限定されない楽しみ方や、魅力の多様性にあるという。

この多様性は総勢12基ある各町の山車にも現れているのだそう。「山車は文化財という側面もありますが各町の象徴でもあり、誇りとなるものです。それぞれ歴史や特徴が異なるので、その違いにも注目してもらえたらさらに祭りの楽しみ方が増えます」と語る。

ところざわまつりの運営に携わるなかで、初めて参加した小学生が、山車の曳きまわしの楽しさを知り、毎年祭りに参加してくれるようになったときに運営としてのやりがいを感じたという。「進学や、就職で一度市外に転出した子どもたちが、年に一度のところざわまつりの日には所沢に帰って来て思いっきり祭りを楽しむ。そのような、人を惹き付け、帰ってくるきっかけになるような祭りにしたいんです」と目を輝かせる。

そんな赤池さんが携わる祭りや山車には、子どもや地域への愛がたくさん詰まっていることだろう。さまざまな見どころがあるところざわまつりの大祭。今年は山車に注目して参加してみるのはいかがだろうか。

（取材：深町）



今月のプレゼントクイズ！

濃厚な狭山茶の味わいをお楽しみください♪

狭山抹茶 最中あいす(3個入り)(1,200円相当×17人)



埼玉産「オクハルカ」を使用したコクとうま味のある自社製の抹茶を、一般的な抹茶アイスの2倍使用。食べた瞬間に口中に抹茶の香りが広がり、奥深い濃厚な味わいを堪能できるアイス最中です。ずっしりとした食べ応えのあるサイズで満足感が高いのもポイントです。

●(株)狭山園
三ヶ島3-1157-3
☎2948-0626
(午前9時～午後6時/不定休)



▲公式HPはこちら

◆今月のクイズ

9・11・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（10月10日(金)締め切り）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦10月号の感想を記入し、〒359-8501広報課（住所不要）に郵送・市HP（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市HP

読者感想文

- 児童館は小学生までの子が集まる場所と思っていたので、いろいろなプログラムがあるなんて全然知りませんでした。中学・高校生も気軽に通えて心が休まり、1人で行っても安心できる場所があるなんていいと思いました（上新井・50代）
 - トコハピという場所があることを初めて知りました。学年問わず交流の機会があることに加えて、学校以外にもつながりができることは良いことだと思います。応援しています（西所沢・20代）
- 編集から●9月号はトコハピ（児童館）を特集。トコハピは乳幼児や小学生が遊ぶことはもちろん、中学・高校生の居場所でもあります。

トコハピにぜひ気軽に遊びに来てください♪

- 「自宅備蓄品例」の項目は役立つと思いました。わが家でも防災備品を備えており、チェックしてみました（元町・30代）
- 編集から●備えあれば患いなし。皆さんもぜひ自宅の備蓄品を再度確認してみてください
- デフテニスの鈴木梨子さん、所沢市に世界で活躍する選手がいることを初めて知りました（久米・40代）
- 編集から●11月に開催するデフリンピックに出場する鈴木梨子さんの活躍が楽しみです！

編集後記

● 今月のところっこの赤池さんは、50代の頃に所沢シティマラソン（5km）を完走することができずに悔しい思いをしたという。そこで、走ることへの魅力に目覚め、東京マラソン（42.195km）を制限時間内に走りきることを目標として練習中なのだそう。赤池さんの向上心や子どもたちへの深い思いやりに非常に感銘を受けました。私も赤池さんのように向上心と思いやりを持つ人間になりたいです（深町）

● 最終処分場の存在や役割を知らなかったという方も多いのではないのでしょうか。最終処分場を長く使うためにも、普段の生活でゴミを減らす意識を持ち、行動に移してみませんか！（関）

● やっと涼しくなってきました！過ごしやすいく気温で体が軽くなったように感じます。秋はイベント盛りだくさん。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋…思いっきり楽しみましょう！（上地）